



第57回

The 57th Annual Congress of JMHA in Fukushima

全国自治体病院学会 in福島



地域医療の明日を拓く
自治体病院の機能分化と連携強化

学会開催のご案内

2018年

10月18日(木)・19日(金)

会期



演題登録期間

2018年
4月10日(火)～
6月14日(木)正午

事前参加登録期間

2018年
4月10日(火)～
8月31日(金)正午

学会長

齋藤 清 (公立大学法人
福島県立医科大学附属病院 病院長)

会場

郡山市民文化センター、ホテルハマツ、郡山市労働福祉会館
主催：公益社団法人 全国自治体病院協議会 共催：全国自治体病院開設者協議会

◎ 学会事務局：公立大学法人 福島県立医科大学附属病院 〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地
◎ 運営事務局：株式会社コングレ 〒102-8481 東京都千代田区麹町5-1 弘済会館ビル6階 TEL:03-5216-5318 FAX:03-5216-5552 E-mail:jmha2018@congre.co.jp



CONTENTS

学会へのご案内(ごあいさつ).....	1
会期・会場及びお問い合わせ先.....	2
会場までの交通機関、会場周辺案内図.....	3
学会日程表(予定).....	4
総会プログラム.....	6
分科会プログラム	
[職種・技術系]	
看護・看護教育分科会.....	8
臨床医学分科会.....	9
臨床医学分科会(精神科領域).....	10
薬剤分科会.....	11
臨床検査分科会.....	12
放射線分科会.....	13
栄養分科会.....	14
リハビリテーション分科会.....	15
臨床工学分科会.....	16
[経営・管理系]	
経営・管理分科会.....	17
地域医療・連携・福祉分科会.....	18
学会参加登録.....	19
演題発表申し込み.....	22
デジタルポスターセッションについて.....	26
エクスカーションのご案内.....	28
宿泊のご案内.....	30

地域医療の明日を拓く ～自治体病院の機能分化と連携強化～



学会長 齋藤 清
公立大学法人 福島県立医科大学附属病院 病院長

第57回全国自治体病院学会を、平成30年10月18日(木)から19日(金)の2日間にわたり、福島県郡山市の郡山市民文化センター、ホテルハマツ、郡山市労働福祉会館を会場として開催いたします。

今回のテーマは、「地域医療の明日を拓く～自治体病院の機能分化と連携強化～」です。現在、少子高齢社会の急速な進展や生産年齢人口の減少、地域医療構想の策定、働き方改革など、医療を取り巻く環境が大きく変化する中、私たち自治体病院もまた、大きな変革を求められています。一方で、自治体病院は地域医療の最後の砦であり、私たちは、力を合わせて地域住民の皆さまに最善の医療を提供していかなければなりません。

本県の特徴として、その広大さから地方によって気候や文化が大きく異なり、自治体病院に求められる医療も様々であるため、地域医療には多くの課題があります。また、東日本大震災からの復興や地域医療の再生への取り組みの中で、自治体病院が連携する必要も痛感してきました。

本県に限らず、皆さまの病院に与えられた役割や課題は、地域によって様々かと思えます。しかし、私たちの「地域の住民に最善の医療を提供する」という思いはひとつです。自治体病院のあるべき姿について、皆さまと議論を深めていきたいと考えています。

本学会では、例年通り総会特別講演、総会シンポジウム、10の分科会などを予定しているほか、昨年度に引き続き、デジタルポスターセッションや臨床医学分科会での精神科特別企画などを計画しています。

会場となる郡山市は福島県の中心に位置し、東北・北海道新幹線や福島空港を利用したアクセスも便利です。また、歴史ある会津地方や、海を満喫できる浜通り地方などへ、足を伸ばしやすい場所でもあります。秋の福島県は紅葉が大変美しく、ぜひ皆さまに楽しんでいただければと思います。

福島県の自治体病院が総力をあげて皆さまをお迎えいたしますので、全国から多数の方々のご参加を、心からお待ちしております。



会期・会場及びお問い合わせ先

会 期

第1日目 平成30年10月18日(木)

開会式、総会特別講演Ⅰ、総会シンポジウムⅠ、会長特別講演、
総会イブニングセッション、分科会、ランチョンセミナー、交流会

第2日目 平成30年10月19日(金)

総会シンポジウムⅡ、総会特別講演Ⅱ、第56回全国自治体病院学会最優秀演題発表、
総会特別講演Ⅲ(県民公開講座)、総会特別講演Ⅳ(県民公開講座)、
分科会、モーニングセミナー、ランチョンセミナー、閉会式

会 場

郡山市民文化センター(講演会、ポスター会場、昼食会場)

〒963-8878 福島県郡山市堤下町1番2号 TEL:024-934-2288(代表)

ホテルハマツ(講演会、ポスター会場、セミナー会場、展示会場)

〒963-8014 福島県郡山市虎丸町3番18号 TEL:024-935-1111(代表)

郡山市労働福祉会館(ポスター会場)

〒963-8014 福島県郡山市虎丸町7番7号 TEL:024-932-5279(代表)

お問い合わせ先

学会事務局: 公立大学法人 福島県立医科大学附属病院 病院経営課

〒960-1295 福島市光が丘1番地

TEL 024-547-1021 FAX 024-547-1988 E-mail: jmha57@fmu.ac.jp

運営事務局: 株式会社コングレ

担当: 塩田・佐藤

〒102-8481 東京都千代田区麴町5-1 弘済会館ビル

TEL: 03-5216-5318 FAX: 03-5216-5552 E-mail: jmha2018@congre.co.jp

※学会の運営・プログラム、事前参加登録、演題登録については、

運営事務局へお問い合わせください。

<お問い合わせ受付時間>月曜～金曜(祝祭日を除く)10:00～17:30

オフィシャル・トラベルエージェント

【宿泊プラン・エクスカーションに関するお問い合わせ先】

(株)JTBビジネスネットワーク JTB東北ECデスク

「第57回全国自治体病院学会 in 福島」係

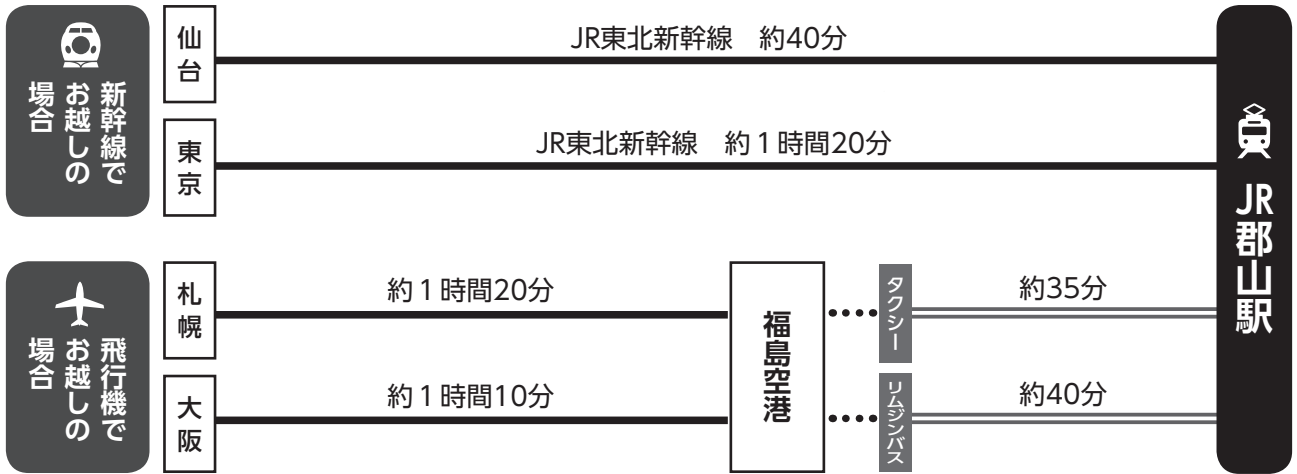
TEL: 0120-989-960(フリーダイヤル)

FAX: 0120-937-224(フリーダイヤル)

E-mail: tohoku-ec@jbn.jtb.jp

[営業時間]午前9時30分～午後5時30分(土・日・祝日休業)

会場までの交通機関、会場周辺案内図



JR郡山駅 ⇒ 各会場まで

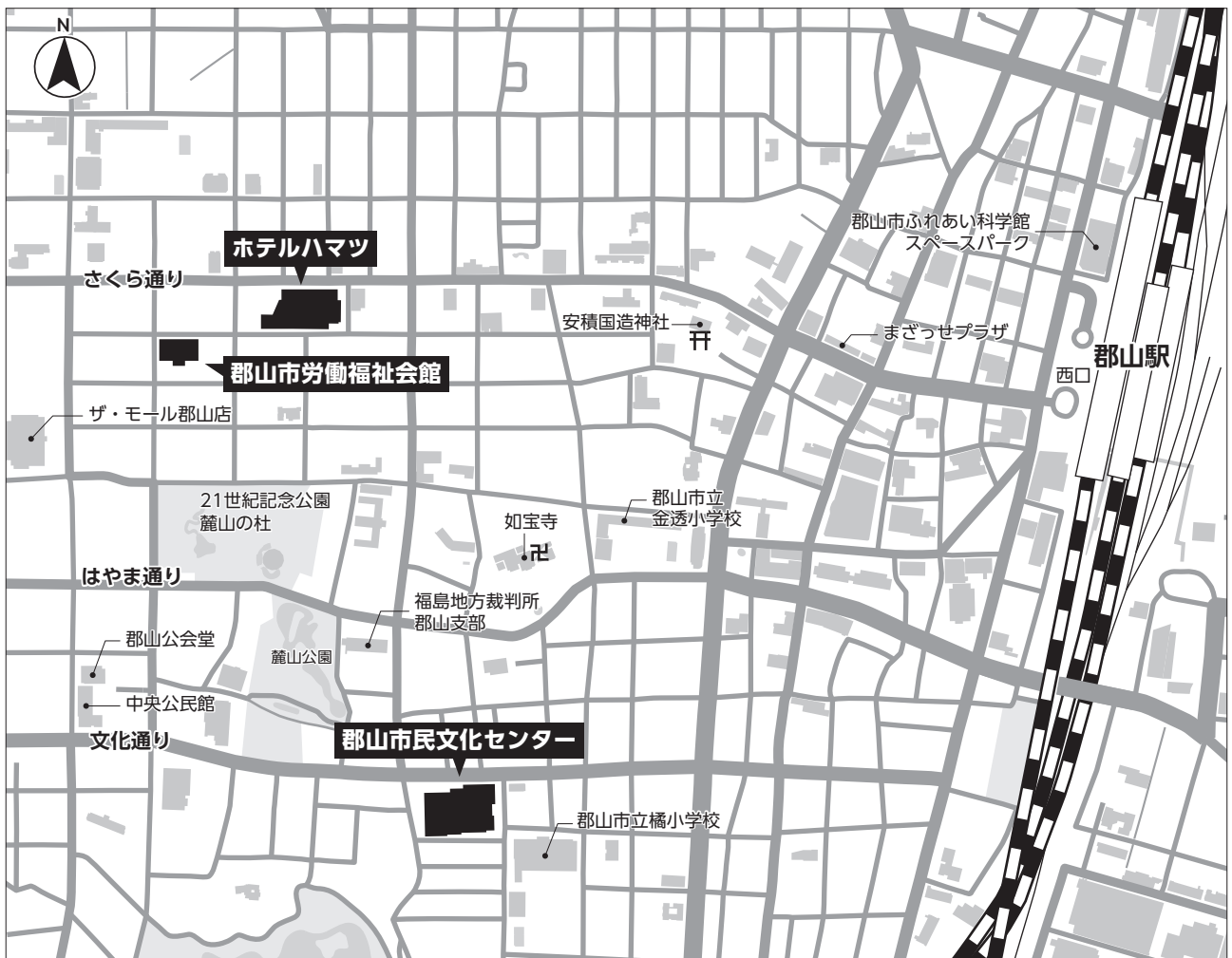
- ・郡山市民文化センター
- ・ホテルハマツ
- ・郡山市労働福祉会館

徒歩
約20分

タクシー
約5分

バス
【福島交通】
約5分

- ・郡山市民文化センター
「市民文化センター前」下車
- ・ホテルハマツ
- ・郡山市労働福祉会館
「虎丸」下車





学会日程表 (予定)

1日目 / 平成30年10月18日(木)

			8:00	9:00	10:00	11:00	12:00
				8:50	9:35	10:20	
第1会場	郡山市民文化センター	2階 大ホール		開会式	総会特別講演 I	総会シンポジウム I	
第2会場	郡山市民文化センター	2階 中ホール					
第3会場	ホテルハマツ	3階 右近					
第4会場	ホテルハマツ	3階 桜					
第5会場	ホテルハマツ	3階 中央					
第6会場	ホテルハマツ	3階 橘					
第7会場	ホテルハマツ	3階 左近					
ポスター会場	郡山市民文化センター	1階 展示室				ポスター掲示	
	郡山市民文化センター	4階 第1~4会議室					
	ホテルハマツ	2階 ロビン、白鳳、チエルシ、メイフェア、福寿、開成					
	ホテルハマツ	8階 スカイバンケットルーム					
郡山市労働福祉会館	郡山市労働福祉会館	1階 第1、2会議室					
	郡山市労働福祉会館	2階 中ホール、第3会議室					
	郡山市労働福祉会館	3階 大ホール					
展示会場	ホテルハマツ	3階 ホワイエ				機器展示	

2日目 / 平成30年10月19日(金)

			8:00	9:00	10:00	11:00	12:00
			7:30	8:20	8:50	10:40	11:50
						10:45	11:45
第1会場	郡山市民文化センター	2階 大ホール				総会シンポジウム II	総会特別講演 II
第2会場	郡山市民文化センター	2階 中ホール					
第3会場	ホテルハマツ	3階 右近		モーニングセミナー1		リハビリテーション分科会	
第4会場	ホテルハマツ	3階 桜		モーニングセミナー2		栄養分科会	
第5会場	ホテルハマツ	3階 中央		モーニングセミナー3		臨床検査分科会	
第6会場	ホテルハマツ	3階 橘		モーニングセミナー4		地域医療・連携・福祉分科会	
第7会場	ホテルハマツ	3階 左近		モーニングセミナー5		臨床医学分科会	
ポスター会場	郡山市民文化センター	1階 展示室				ポスター掲示	一般演題発表 (デジタルポスターセッション)
	郡山市民文化センター	4階 第1~4会議室					
	ホテルハマツ	2階 ロビン、白鳳、チエルシ、メイフェア、福寿、開成					
	ホテルハマツ	8階 スカイバンケットルーム					
郡山市労働福祉会館	郡山市労働福祉会館	1階 第1、2会議室					
	郡山市労働福祉会館	2階 中ホール、第3会議室					
	郡山市労働福祉会館	3階 大ホール					
展示会場	ホテルハマツ	3階 ホワイエ				機器展示	

12:00		13:00		14:00		15:00		16:00		17:00		18:00		19:00			
	12:10	12:40		13:40	14:10					17:20	17:30	18:30	18:40				
						看護・看護教育分科会											
ランチョンセミナー1				薬剤分科会						会長特別講演							
ランチョンセミナー2				臨床工学分科会						総会イブニングセッション							
ランチョンセミナー3				放射線分科会													
ランチョンセミナー4				経営・管理分科会													
ランチョンセミナー5				経営・管理分科会 シンポジウム (医療の質の評価・公表等推進事業報告)				臨床医学分科会 特別講演 (精神科領域)									
ポスター展示				一般演題発表 (デジタルポスターセッション) 【看護・看護教育分科会】 【臨床医学分科会】 【臨床検査分科会】 【栄養分科会】 【リハビリテーション分科会】 【地域医療・連携・福祉分科会】						ポスター撤去				交流会			
機器展示																	

12:00		13:00		14:00		15:00		16:00		17:00		18:00		19:00	
	12:20	13:20	13:30	13:45	14:35	14:40		15:40		16:40	17:20				
				最優秀演題発表		総会特別講演Ⅲ (県民公開講座)		総会特別講演Ⅳ (県民公開講座)		閉会式					
ランチョンセミナー6															
ランチョンセミナー7															
ランチョンセミナー8															
ランチョンセミナー9															
ランチョンセミナー10															
ポスター展示				ポスター撤去											
機器展示															

第1日目 平成30年10月18日(木) 第1会場

- ◆開会式・総会 8:50～ 9:35
- ◆総会特別講演 I 9:35～10:20
- 演 題 「地域医療の明日を拓く」
 講 師 鈴木 康裕 (厚生労働省 医務技監)
 座 長 齋藤 清 (公立大学法人 福島県立医科大学附属病院 病院長)
- ◆総会シンポジウム I 10:30～12:10
- テ ー マ 「自治体病院の機能分化と連携強化」
 シンポジストⅠ 「地域医療の課題と公的病院の今後 - 当地区の事例」
 栗谷 義樹 (地方独立行政法人 山形県・酒田市病院機構 理事長)
 シンポジストⅡ 「未定」
 三浦 純一 (公立岩瀬病院 院長)
 シンポジストⅢ 「未定」
 (全国自治体病院開設者協議会代表者)
 コメンテーター (総務省)
 コメンテーター (厚生労働省)
 座 長 (公益社団法人 全国自治体病院協議会 副会長)
 座 長 (公益社団法人 全国自治体病院協議会 副会長)

第1日目 平成30年10月18日(木) 第3会場

- ◆会長特別講演 17:20～18:10
- 演 題 「生命輝かそう自治体病院」
 ～全国自治体病院協議会の過去・現在・未来～
 (全員参加の病院づくり)
 講 師 邊見 公雄 (公益社団法人 全国自治体病院協議会 会長)
 座 長 棟方 充 (公立大学法人 福島県立医科大学 会津医療センター附属病院 病院長)

第1日目 平成30年10月18日(木) 第4会場

- ◆総会イブニングセッション 17:20～18:10
- 演 題 「未定」
 講 師 辻 哲夫 (東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授)
 座 長 堀川 哲男 (公立藤田総合病院 院長)

第2日目 平成30年10月19日(金) 第1会場

◆総会シンポジウムⅡ

8:50～10:40

テ ー マ 「福島の復興と地域医療の再生」

シンポジストⅠ 「福島県の東日本大震災と原発事故からの地域医療再生への取組
- とくに相双地域の医療再生の歩み」

阿部 正文 (福島県病院局 病院事業管理者)

シンポジストⅡ 「未定」

重富 秀一 (福島県厚生農業協同組合連合会 双葉厚生病院 院長)

シンポジストⅢ 「震災後7年 緊急時避難準備区域の医療体制の整備と課題」

及川 友好 (南相馬市立総合病院 院長)

シンポジストⅣ 「双葉地域の医療体制の現状とこれから」

谷川 攻一 (公立大学法人 福島県立医科大学 ふくしま国際医療科学センター
センター長)

座 長 (公益社団法人 全国自治体病院協議会 副会長)

(公益社団法人 全国自治体病院協議会 副会長)

◆総会特別講演Ⅱ

10:45～11:45

演 題 「大震災・原発事故 - 危機下における大学の使命・トップの責任 -」

講 師 菊地 臣一 (公立大学法人 福島県立医科大学 常任顧問)

座 長 (公益社団法人 全国自治体病院協議会 副会長)

◆第56回全国自治体病院学会最優秀演題発表

13:45～14:35

◆総会特別講演Ⅲ (県民公開講座)

14:40～15:40

演 題 「笑いとう医療～こころとからだを癒す笑いの効果～」

講 師 大平 哲也 (公立大学法人 福島県立医科大学医学部疫学講座 主任教授)

座 長 三浦 純一 (公立岩瀬病院 院長)

◆総会特別講演Ⅳ (県民公開講座)

15:40～16:40

演 題 「未定」

講 師 澤口 俊之 (人間性脳科学研究所 所長)

座 長 金田 寛之 (公立相馬総合病院 院長)

◆閉会式

16:40～17:20



看護・看護教育分科会

テーマ 『看護の力で地域医療を支える』



公立大学法人 福島県立医科大学附属病院 看護部長
目黒 文子

皆様こんにちは、今回、看護・看護教育分科会を担当させていただきます。よろしくお願いいたします。

今社会は、2025年を目前に、少子・超高齢・多死社会を迎えようとしています。

「治す」より「支える」医療の転換が考えられてきている中で、住み慣れた地域で、住み続けることが可能となるように、地域包括ケアシステムの構築が進められています。

また、日本看護協会では、「生きるを、ともに、つくる」というタグラインを設定し、今後の多様なニーズに看護の力を注いでいく方向を示しています。

そのような社会・医療の変化の中で、地域においては、やはりチーム医療の中心となる看護が大きな力を発揮する役割を担っていると思います。その力をこの学会から発信していきたいと思っています。

今回、看護・看護教育分科会では「看護の力で地域医療を支える」をテーマに、お二人の講師をお招きし、特別講演を行います。

特別講演Ⅰでは、東京情報大学看護学部特命副学長の加納佳代子先生より、「教育から看護をつなぐ」というテーマで地域医療における看護に期待される役割を教育の立場からご講演をいただきます。

特別講演Ⅱでは、皆様よくご存じの在宅ケア移行支援研究所宇都宮宏子オフィスの宇都宮宏子先生から「地域で“暮らす”そして“生きる”に伴走する看護～aging in placeを実現するために～」のテーマで、地域で生きる患者への生活を支援するために看護師の役割についてご講演をいただきます。

これからの看護の役割を教育も含めて、講演会・ポスターセッションなどを通して、皆様と、意見交換をしながら一緒に考え、有意義な時間を持つことができると考えております。ぜひ福島の地へ、多くの皆様のご参加をお待ちいたしております。

1. 特別講演Ⅰ【平成30年10月18日(木) 14:10～15:25】

演題 「教育から看護をつなぐ」

講師 加納佳代子（東京情報大学看護学部 特命副学長 看護学部担当）

座長 未定

2. 特別講演Ⅱ【平成30年10月18日(木) 15:25～17:10】

演題 「地域で“暮らす”そして“生きる”に伴走する看護
～aging in placeを実現するために～」

講師 宇都宮宏子（在宅ケア移行支援研究所宇都宮宏子オフィス 代表）

座長 沼崎美津子（一般財団法人 脳神経疾患研究所 看護小規模多機能型 居宅介護事業所
在宅看護センター結の学校／南東北福島訪問看護ステーション 結 所長）

3. 一般演題(デジタルポスターセッション)【平成30年10月18日(木) 14:10～17:10 10月19日(金) 8:50～11:50】

テーマ 『これからの自治体病院のあり方を求めて』



南相馬市立総合病院 院長
及川 友好

自治体病院には各地域の中核病院として最先端の医療を提供するとともに、地域で不足する医療の補完も行う使命があります。また、行政からの指示を受け、その施策に則った医療を展開する必要もあります。平成19年度から始まった公立病院改革プランや平成27年度からの地域医療構想はその代表であり、各病院はこれらの指示のもと地域医療ニーズに沿った自治体病院のあり方を模索しているはずですが、具体的には加速する高齢少子化社会に向けての医療ビジョンや医療過疎地域に対しての適切な医療提供、そして病院経営の健全化を示す必要に迫られています。しかしながら、病院運営においては効率の良い採算部門のみを運営し、それ以外の部門は切り捨てるという議論、いわゆる「選択と集中」やダウンサイジングの手法は医療と一般企業がその本質を異にするため、そのまま当てはめるわけにはいきません。

平成30年度は病院のあり方に影響すると思われる新専門医制度も運用が開始されます。新専門医制度のあり方やその運用、教育のあり方については十分な議論がなされているとは言えず、今後は医療現場のわれわれの意見を制度に反映させる必要を感じます。

最後に、本学会は東日本大震災後、初めて東北で行われる全国自治体病院学会であることから災害時の医療についても議論したいと考えています。

以上を踏まえ、今回の臨床医学分科会のカテゴリーは、従来の一般演題に加え「病院運営、経営」、「新専門医制度」、「震災時医療」を設定しております。

本分科会が学術発表の場のみならず、各自治体病院が有する様々な問題点を共有し、その解決策を見いだす機会になれば幸いです。多数の皆様のご発表とご参加をお待ちしております。

1. 特別講演Ⅰ【平成30年10月19日(金) 8:50~10:20】

演題 「今こそ考える「保健医療2035」」

講師 渋谷 健司（東京大学大学院 医学系研究科 国際保健政策学教室 教授）

座長 金澤 幸夫（南相馬市立総合病院 地域医療研究センター長）

2. 特別講演Ⅱ【平成30年10月19日(金) 10:20~11:50】

演題 「専門医育成と自治体病院の役割(仮)」

講師 濱口 杉大（公立大学法人 福島県立医科大学附属病院 総合内科 教授）

座長 鈴木 史雄（南相馬市立総合病院 副院長）

3. 一般演題(デジタルポスターセッション)【平成30年10月18日(木) 14:10~17:10】



臨床医学分科会（精神科領域）

テーマ 『一般医療と精神科医療の接点』



福島県立矢吹病院 院長
横山 昇

「21世紀は心の世紀（時代）」と言われてきましたが、確かに十数年ほど前からメンタルヘルスへの関心が年を追うごとに高まってきている印象があります。近年では、うつ病や神経症などのストレス関連疾患に加え、高齢者の認知症性疾患や児童の発達障害・虐待問題がクローズアップされるなど、社会構造の変化を反映した精神科疾病構造の変容が際立ち、まさに「心の世紀」の様相を呈してきていると言え、精神科医療の役割が今後ますます重要になると予想されます。

乳児期から老年期まであらゆるライフステージに関与するなかで、病状の遷延化・慢性化そして治療の長期化に至るケースが珍しくない精神科医療の現場では、途中から（或いは最初から）合併する身体疾患の処遇が大きな問題となっています。とりわけ生命にかかわるような重篤な身体合併症においては、緊急時でさえ紹介・転院先を探すのに困難を極める事態が少なからず見受けられ、一般身体科医療との常日頃からの連携の重要性を痛感せざるを得ません。

前回の千葉大会において本学会としては17年ぶりに精神科領域のセッションが企画され、「総合病院で精神科が担っている役割」と題したシンポジウムが開催されました。これを受け、本学会では「一般医療と精神科医療の接点」をテーマに国立病院機構久里浜医療センターの樋口院長先生をお招きし、一般医療でも比較的身近と思われる「依存」医療に焦点をあてた特別講演を頂きます。精神科領域以外の皆様にも職種・職域を問わず是非ご参集いただき、一般医療と精神科医療の連携を一緒に考えてみたいと思います。また、本大会を機に本学会の各分科会に精神科領域から多彩な演題・話題が毎年提供され、関連する一般身体科との医療連携が更なる深化・発展を遂げることを大いに期待しますので、皆様のご理解とご協力を宜しくお願い致します。

1. 特別講演【平成30年10月18日(木) 15:55～17:10】

演 題 「一般医療と依存医療の連携」

講 師 樋口 進（独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター 院長）

座 長 横山 昇（福島県立矢吹病院 院長）

テーマ 『自治体病院の連携強化
～患者に寄りそう薬剤師の役割』



公立藤田総合病院 院長
堀川 哲男

我が国は世界に類を見ない急激な少子高齢社会を迎えており将来に様々な歪み混乱が予想されています。対策として政府は2014年6月に医療介護総合確保推進法を制定し医療介護福祉保健を一体的に取り組み地域包括医療ケアの考えを推し進めています。このためには行政や地域住民の参加はもちろんとし我々関わる多職種連携・チーム力が欠かせないでしょう。

本分科会では、特別講演として相馬中央病院の坪倉正治先生にお願いしました。東日本大震災その後の未曾有の福島原発事故後に被災した地域住民の健康を守るべくいかに医療人が連携し奮闘したのか興味あるお話しを拝聴出来ると思います。シンポジウムは「患者に寄りそう地域連携における薬剤師の役割」のテーマで白石先生から薬薬連携、山崎先生から患者サポートセンターの起ちあげと役割、遠藤先生からは診療報酬改定と薬剤師業務のタイトルで討論していただきます。連携のあり方と薬剤師の専門性をいかに発揮するか議論出来ればと思います。ただ、4月の診療報酬改定では薬価等はマイナス1.74%と大幅なものとなりました。門前薬局の評価見直し、点数からは後発薬品推奨・多剤薬品チェック・抗菌薬の適切使用チェック・DM薬の管理とますます忙しくなり働き方改革を睨みながら業務の効率性も追求しなければならないでしょう。また一般演題では研究の成果をポスター形式で発表していただきます。

全国から多数の方々に参加いただき交流を深められればと思います。楽しみにお待ちしております。

1. 特別講演【平成30年10月18日(木) 14:10～15:20】

演題	「東日本大震災・原発災害による健康被害・相馬地方のデータから」
講師	坪倉 正治 (医療法人社団茶畑会 相馬中央病院 医師)
座長	堀川 哲男 (公立藤田総合病院 院長)

2. シンポジウム【平成30年10月18日(木) 15:20～17:10】

テーマ 「患者に寄りそう地域連携における薬剤師の役割」

シンポジストⅠ 「地域包括ケアシステムにおける薬薬連携
～症例・患者背景に配慮した在宅移行支援と薬局薬剤師の関わり～」
白石 丈也 (けや木薬局 開設者・管理薬剤師)

シンポジストⅡ 「患者サポートセンターにおける薬剤師の役割」
山崎 亮 (公立大学法人 福島県立医科大学附属病院 薬剤部 主任薬剤技師)

シンポジストⅢ 「診療報酬改定を見据えた薬剤師業務」
遠藤 一司 (一般社団法人 日本病院薬剤師会 専務理事)

座長 齊藤 直美 (公立藤田総合病院 主任薬剤師)
和泉啓司郎 (公立大学法人 福島県立医科大学附属病院 薬剤部長)

3. 一般演題(デジタルポスターセッション)【平成30年10月19日(金) 8:50～11:50】

テーマ 『地域から発信する臨床検査の未来』



いわき市立総合磐城共立病院 院長
新谷 史明

福島県は東北を横断するように位置し全国第3位の面積となります。県内は日本海側を「会津」、太平洋側内陸を「中通り」太平洋沿岸を「浜通り」の3地域に分けられ、それぞれ地形、気候が大きく異なり、都市部と山村部が混在しています。高齢化を迎える2025年問題といまだ原発事故後の影響がやまない地域など、これら広域医療を支えるための自治体病院が直面する課題に対し、臨床検査の立場から取り組む姿勢が問われています。

特別講演では、福島県立医科大学 臨床医学講座教授 志村 浩己先生に「県民健康調査『甲状腺検査』のための福島県内医療機関連携と検査者育成への取り組み」と題し、原発事故後の健康被害のひとつと考えられている放射線被曝による小児の甲状腺への影響に対し、長期的に見守るための体制をどのように構築し、活動を進めてきたかについて御講演いただきます。

シンポジウムは「地域特性に応える臨床検査」と題して、「健康管理」「輸血」「感染制御」「病理」「在宅医療」の分野から5人の先生に講演していただきます。広域性や地域性、医療者の偏在などの問題を抱えながら、それぞれの分野を地域の中でどのように運営していくべきなのか、講演を交えながら議論を深めたいと思います。

一般演題は、デジタルポスターセッションで行われます。日頃の取り組みや研究成果について発表をしていただき、活発な意見交換を期待しております。多数の皆様のご応募とご参加をお待ちしております。

1. 特別講演【平成30年10月19日(金) 8:50~9:45】

演題	「県民健康調査「甲状腺検査」のための福島県内医療機関連携と検査者育成への取り組み」
講師	志村 浩己（公立大学法人 福島県立医科大学医学部 臨床検査医学講座 教授）
座長	新谷 史明（いわき市立総合磐城共立病院 院長）

2. シンポジウム【平成30年10月19日(金) 9:55~11:50】

テーマ	「地域特性に応える臨床検査」
シンポジストⅠ	「福島県の甲状腺検査の現状報告～検査技師に望まれること～」 堀越由紀子（公立大学法人 福島県立医科大学 健康調査課甲状腺検査室 主任医療技師）
シンポジストⅡ	「適正かつ安全な輸血療法への取り組み」 鈴木久仁子（いわき市立総合磐城共立病院 医療技術部 中央検査部 輸血室 専門技師）
シンポジストⅢ	「福島県における感染制御の地域連携」 金子美千代（公立相馬総合病院 臨床検査科 臨床検査技師）
シンポジストⅣ	「バーチャルスライドを利用した遠隔術中迅速病理検査の取り組み」 寺山美恵子（南相馬市立総合病院 臨床検査科 技査臨床検査技師）
シンポジストⅤ	「在宅医療における検査業務」 大橋 悟（医療法人社団心 坂の上ファミリークリニック 医療技術課医療技術係 係長補佐）
座長	山寺 幸雄（公立大学法人 福島県立医科大学附属病院 検査部 技師長） 森 菊夫（いわき市立総合磐城共立病院 医療技術部中央検査室 技師長）

3. 一般演題(デジタルポスターセッション)【平成30年10月18日(木) 14:10~17:10】

テーマ 『良質な放射線診療と地域医療への貢献』



いわき市立総合磐城共立病院 院長
新谷 史明

全国の自治体病院は、地域住民の医療を支える目的で開設されており、住民に良質で安心な医療を提供できる体制を整える事が常に期待されています。

その期待に応えるために、それぞれの研究を重ねながら、放射線機器等の更新にも取り組んでいます。しかし、地方では、まだまだ放射線診断医や放射線治療医が不足しているのが現状です。

福島県は、東日本大震災に伴う建物の倒壊、津波被害や、福島第一原発の事故による住民の避難などで、一部のコミュニティが崩壊し、県民の高齢化がより一層加速するなど、多くの問題が山積しています。医療の現場は、震災から7年が経過し、若干落ち着きを取り戻してきました。その中で、今年、福島県で全国自治体病院学会が開催されることとなり、放射線分科会では、今回のテーマである“良質な放射線診療”という観点から、特別講演Ⅰとして、福島県立医科大学の放射線医学講座の石井士朗准教授に「PET/MRIによる画像診断」と題して、正確な診断に基づく治療方針の決定に貢献している現状について講演をしていただきます。また、特別講演Ⅱでは、福島県立医科大学の放射線災害医療学講座の長谷川有史教授に、“地域医療への貢献”という観点から「逆転の発想から -放射線災害医療から地域医療となるためには」という演題で講演をしていただきます。

2日目の一般演題は、デジタルポスターセッション形式で、日ごろの取り組みや研究成果について発表して頂きます。多くの質問を出して活発な討論をお願いいたします。

1. 特別講演Ⅰ【平成30年10月18日(木) 14:10～15:20】

演題 「PET/MRIによる画像診断」

講師 石井 士朗（公立大学法人 福島県立医科大学医学部 放射線医学講座 准教授）

座長 佐藤 孝則（公立大学法人 福島県立医科大学附属病院 放射線部 技師長）

2. 特別講演Ⅱ【平成30年10月18日(木) 15:30～16:40】

演題 「逆説の発想から -放射線災害医療が地域医療となるためには？ -」

講師 長谷川有史（公立大学法人 福島県立医科大学医学部 放射線災害医療学講座 教授）

座長 新谷 史明（いわき市立総合磐城共立病院 院長）

3. 一般演題(デジタルポスターセッション)【平成30年10月19日(金) 8:50～11:50】

テーマ 『栄養管理におけるスキルミクス』



公立相馬総合病院 院長
金田 寛之

チーム医療という言葉が使われるようになって久しく、現在、多職種がそれぞれの知識・技能を生かしながら連携して、1人の患者に関わる時代になりました。

NSTもその1つであり、それまでは補助的な立場であった栄養管理が、今ではむしろ疾患治療における基盤と認識されるようになってきています。

また、これから迎える超高齢化社会においても、生命予後や要介護リスクに対する栄養状態の影響が甚大なため、その評価も重要視されています。以前の採血による血中蛋白質のみの評価から、画像検査や生理機能検査等を含む総合的な視点から多角的に個々の状態を把握する時代になってきました。

栄養に関する話題は、我が国でもここ20年で大きな変貌を遂げ、多職種から注目を集めています。

一方、術後回復強化策 (ERAS) という概念の登場とともに、周術期管理の考え方も、積極的なリハビリテーションの考え方も以前のものに比べ、一変しました。

そこで特別講演では、これからの栄養管理部門を背負っていく2人の演者に講演していただきます。食道外科医であり、周術期栄養管理における第一人者である、岩手県立中央病院長の宮田剛先生には「術後回復促進のためのエッセンス」という演題で、術前・術後管理の最近の考え方を紹介していただき、リハビリテーション医である、坂総合病院長の藤原大先生には「リハビリテーション栄養による高齢者ケア」という演題で、リハビリテーションには欠くことのできない栄養療法の介入効果、さらにリハビリテーション処方の中での栄養評価、介入方法などをそれぞれチームとしての活動を踏まえて教えていただくことになっています。

一般演題では「がん化学療法」「摂食嚥下障害」「栄養指導」「給食サービス」「在宅医療」「栄養評価法」「褥瘡」「周術期栄養管理」「リハビリテーションと栄養」「その他」の10個のカテゴリーで、デジタルポスターセッションを行います。

今回の学会が、多くの皆様にとって、栄養管理の見方を変えるターニングポイントになっていただけると幸いです。

1. 特別講演 I 【平成30年10月19日(金) 8:50~10:20】

演題 「術後回復促進のためのエッセンス」

講師 宮田 剛 (岩手県立中央病院 院長)

座長 金田 寛之 (公立相馬総合病院 院長)

2. 特別講演 II 【平成30年10月19日(金) 10:20~11:50】

テーマ 「リハビリテーション栄養による高齢者ケア」

講師 藤原 大 (公益財団法人宮城厚生協会 坂総合病院 リハビリテーション科 科長)

座長 小林 明子 (公立大学法人 福島県立医科大学 会津医療センター附属病院 中央診療部門 栄養管理部 主任栄養技師)

3. 一般演題(デジタルポスターセッション) 【平成30年10月18日(木) 14:10~17:10】

テーマ 『地域におけるリハビリテーションの可能性と新たな挑戦』



公立藤田総合病院 院長
堀川 哲男

我が国は、急激な少子高齢社会を迎えておりいわゆる 2025年問題を度々耳にするようになった。後期高齢者の割合も今後増え続けて様々な社会の歪み混乱が予想されているが、支えての若者の減少がより深刻である。このため政府は 2014年6月医療介護総合確保推進法を制定し行政や地域住民を巻き込んで医療介護福祉保健を一体的に取り込もうとしている。また出来るだけ長く自立した健康長寿を目指すため予防医学の考えと健康作りを薦めている。財源問題や地域性を踏まえながらますますリハビリスタッフの活躍が期待されてくるでしょう。

今回の分科会では、「地域におけるリハビリテーションの可能性と新たな挑戦」のテーマでシンポジウムは無くして特別講演2題を計画しました。講演Ⅰは江頭文夫先生の超高齢社会のリハビリ、元気な90歳以上の高齢者も増えていますが「老化」は避けられないとしても悪循環は防げるのではないのでしょうか。講演Ⅱは陶山哲夫先生の高齢障害者のスポーツ、マスコミにも度々高齢者選手の活躍が報道されています。健康作り・社会参加・文化的側面・医療費削減などメリットもいわれますが元々元気な人がスポーツするのでEBMの追究は必要でしょうか。講演を楽しみに皆さんと拝聴したいと思います。4月の診療報酬改定では本体+0.55だが薬価等もあり計-1.19%になりました。地域包括や回復期リハビリ病棟そして介護医療院、訪問や通所リハビリなどますます関係するスタッフの活躍が期待されますのでいろいろな情報交換の場でもあって欲しいと思います。

また、一般演題ではポスター形式で日頃の研究成果を討論していただきます。皆様の多数の参加をお待ちしています。

1. 特別講演Ⅰ【平成30年10月19日(金) 8:50~10:20】

演題 「超高齢者に対するリハビリテーション」

講師 江藤 文夫 (国立障害者リハビリテーションセンター 顧問)

座長 大井 直往 (公立大学法人 福島県立医科大学医学部 リハビリテーション医学講座 教授)

2. 特別講演Ⅱ【平成30年10月19日(金) 10:20~11:50】

演題 「地域の高齢者・障害者に対するスポーツ活動」

講師 陶山 哲夫 (日本リハビリテーション専門学校 校長)

座長 菊池 一郎 (公立藤田総合病院 副院長兼安全管理部長)

3. 一般演題(デジタルポスターセッション)【平成30年10月18日(木) 14:10~17:10】

テーマ 『様々な医療連携に関わる臨床工学技士の役割』



公立大学法人 福島県立医科大学附属病院 臨床工学センター技師長
出羽 仁

臨床工学技士の業務において院内外における他職種との連携は不可欠であり、さらには臨学産連携、医工連携等、臨床工学技士が関与する業務の拡大に伴い活躍の場が広がっています。その中で、臨床工学技士がどのように連携を図り業務に従事するかは今後の課題と言えます。様々な連携が生まれる今後の業務の中で、我々臨床工学技士の在るべき姿や役割を見据えておくことはとても重要です。

今回、特別講演に八戸市立市民病院臨床工学科の野沢義則技士長をお迎えして「臨床工学技士が地域企業・高専と取り組む医療現場の課題解決」と題してご講演いただきます。企業や学校、様々な連携のなかで成果を上げている取り組みについてお話しいただきます。また、シンポジウムでは「病院間連携・職種間連携における臨床工学技士の在り方」と題して5名の先生からご講演いただきます。各自治体の取り組みとしてどのような業務連携が行われていて、今後院内のみならず自治体としての連携を強化する上での我々の役割や在り方について討論していただきます。一般演題ではデジタルポスターセッション形式で発表していただきます。日頃の業務について有意義な討論が出来ればと思います。

今後の幅広い臨床工学技士業務とその業務連携における今後の一助として貢献できればと考えております。皆様のご参加をお待ちしております。

1. 特別講演【平成30年10月18日(木) 14:10～15:20】

演題	「臨床工学技士が地域企業・高専と取り組む医療現場の課題解決」
講師	野沢 義則（八戸市立市民病院 臨床工学科 技士長）
座長	出羽 仁（公立大学法人 福島県立医科大学附属病院 臨床工学センター 技師長）

2. シンポジウム【平成30年10月18日(木) 15:20～17:10】

テーマ	「病院間連携・職種間連携における臨床工学技士の在り方」
シンポジストⅠ	「小さな連携から大きな連携。そして今後の課題へ」 萩野谷雅之（いわき市立総合磐城共立病院 医療技術部臨床工学科 主任臨床工学技士）
シンポジストⅡ	「地域病院における医療機器安全管理を担う臨床工学技士の役割」 菊池 雄一（岩手県立胆沢病院 臨床工学技術科 主査臨床工学技士）
シンポジストⅢ	「職種間連携における臨床工学技士活動」 勝又 尚紀（仙台市立病院 臨床工学室 室長）
シンポジストⅣ	「当院手術室における臨床工学技士の役割とチーム医療」 定 亮志（大阪市立大学医学部附属病院 臨床工学部 臨床工学技士）
シンポジストⅤ	「当院における臨床工学技士の役割～機器管理と機器取扱い教育～」 中村 一貴（和歌山県立医科大学附属病院 臨床工学センター 工学技士長）
座長	萱島 道德（奈良県立医科大学 医療技術センター 技師長） 境原菊五郎（南相馬市立総合病院）

3. 一般演題(デジタルポスターセッション)【平成30年10月19日(金) 8:50～11:50】

テーマ 『地域医療の再生に向けた病院経営』



公立大学法人 福島県立医科大学会津医療センター附属病院 病院長
棟方 充

日本はいよいよ本格的な人口減少時代に入りました。医療・介護のニーズは2025年までは増加する見込みですが、その後、減少に転ずるのは確実です。この、全面的な収縮状況を迎える今、下降傾向にある地域の活力を、新しい発想で再生してゆくことが大きな課題です。そのための重要な基盤は、やはり地域住民が健康で充足した生活をすることにあります。この地域再生のために自治体病院が、今後、どのような役割の担い、どのように機能を発揮し、どのように健全経営を続け、地域医療を守っていくのかが大きな問題となっています。これは、従来の常識が通用しない、全く新たな発想を必要とする課題です。

このような背景から、本分科会では「地域医療の再生に向けた病院経営」をテーマに設定しました。特別講演Ⅰでは、砂川市病院事業管理者であり、全国自治体病院協議会の副会長も務めておられる小熊豊先生に、この新時代における自治体病院の在り方についてのご講演をお願いしました。また、特別講演Ⅱでは、北海道大学付属病院 医療安全管理部長の南須原康之教授に、今、益々その重要性を増している医療安全と病院経営に関するご講演をお願いしました。

シンポジウムでは、公立大学法人奈良県立医科大学公衆衛生学講座教授の今村先生の基調講演とシンポジスト3病院から事例発表を行うこととしています。

一般演題はデジタルポスターセッションとなりますが、ディスカッションを活発化する工夫も凝らしています。皆様からの積極的なご応募を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

1. 特別講演Ⅰ【平成30年10月18日(木) 14:10～15:40】

演題	「地域医療の明日に向けた自治体病院経営の在り方」
講師	小熊 豊 (全国自治体病院協議会 副会長／砂川市病院事業管理者)
座長	棟方 充 (公立大学法人 福島県立医科大学会津医療センター附属病院 病院長)

2. 特別講演Ⅱ【平成30年10月18日(木) 15:40～17:10】

演題	「医療安全管理」
講師	南須原康行 (北海道大学病院 医療安全管理部 教授)
座長	橋本 重厚 (公立大学法人 福島県立医科大学会津医療センター附属病院 医療安全部長)

3. シンポジウム【平成30年10月18日(木) 14:10～15:55】

テーマ	「地域から求められる病院へ－医療の質の評価・公表等推進事業における優良病院からの報告－」
基調講演	「地域医療構想・医療計画と地域包括ケアシステムの今後と公立病院で求められているもの」 今村 知明 (公立大学法人 奈良県立医科大学 公衆衛生学講座 教授／ 全国自治体病院協議会 臨床指標評価検討委員会委員)
シンポジストⅠ	岩手県立大船渡病院
シンポジストⅡ	佐賀県医療センター好生館
シンポジストⅢ	東京都立松沢病院
座長	公益社団法人 全国自治体病院協議会 臨床指標評価検討委員会 委員

4. 一般演題(デジタルポスターセッション)【平成30年10月19日(金) 8:50～11:50】



地域医療・連携・福祉分科会

テーマ 『自治体病院の機能分化と地域包括ケアの中での役割』



公立岩瀬病院 院長
三浦 純一

地域の中で新しい命が生まれ大切に育まれ、地域を支える力となり活躍し、その後、老いを迎えるなかで住み慣れた地域で、自分らしく健康長寿な暮らしを全うできる社会の実現を目指すとき、我々自治体病院が果たすべき役割はますますその重要度を増していくことと思われまます。

今後、押し寄せるであろう急速な少子高齢化社会への流れの中にあっても、自治体病院が守るべき地域医療は、生命の誕生から終末期まで広範囲にわたり、地域の生活に密着したものとなります。

本学会において、地域医療・連携・福祉分科会では「自治体病院の機能分化と地域包括ケアの中での役割」をテーマとし、特別講演1として、地域包括ケア病棟協会 仲井培雄会長を、特別講演2として医療情報システム開発センターMEDIS 山本隆一理事長を、特別講演3として名古屋大学先端医療・臨床研究支援センター 水野正明副センター長をお迎えして、それぞれの専門分野の取り組みのご紹介や、先生方のお考えをお示しいただき、地域の中で「医療」「介護」「保健」「福祉」が有機的に連携していくために自治体病院がどのような役割と機能を担い、地域包括ケアシステムを推進していくべきなのか、全国の自治体病院の多くの皆様と一緒に考え、学んでいきたいと思ひます。

また、一般演題では日頃の研究の成果をデジタルポスターセッション形式で発表していただきます。全国でどのような取り組みがなされているのかご披露いただきますとともに、活発な討論が行われることを期待しております。

1. 特別講演Ⅰ【平成30年10月19日(金) 8:50~9:50】

演題	「最大で最強の地域包括ケア病棟」
講師	仲井 培雄（地域包括ケア病棟協会 会長／医療法人社団 和楽仁 芳珠記念病院理事長）
座長	堀川 哲男（公立藤田総合病院 院長）

2. 特別講演Ⅱ【平成30年10月19日(金) 9:50~10:50】

テーマ	「医療情報システムのあるべき姿」
講師	山本 隆一（一般財団法人 医療情報システム開発センター 理事長）
座長	新谷 史明（いわき市立総合磐城共立病院 院長）

3. 特別講演Ⅲ【平成30年10月19日(金) 10:50~11:50】

テーマ	「自治体病院の機能分化とICT」
講師	水野 正明（名古屋大学先端医療・臨床研究支援センター 副センター長）
座長	三浦 純一（公立岩瀬病院）

4. 一般演題(デジタルポスターセッション)【平成30年10月18日(木) 14:10~17:10】

1. 事前参加登録受付期間

平成30年4月10日(火)～8月31日(金) 正午

2. 学会参加費

(1) ① 一般 11,000円(当日参加費は12,000円)

・プログラム・抄録集代を含みます。

※出来るだけ事前参加登録をお願いいたします。

※特に、演題登録をされる方は、必ず個人登録または団体登録の代表者として事前参加登録をしてください。

② 学生(大学、看護学校、医療系専門学校の学生及び初期研修医) 無料・当日登録のみ

・プログラム・抄録集が必要な方は、学会当日会場にて2,000円で販売いたします。

・学生の方は、ランチョンセミナー、モーニングセミナー、交流会の参加は出来ません。

(2) 交流会参加費 6,000円

日 時：1日目 平成30年10月18日(木) 18:40～20:40(予定)

会 場：ホテルハマツ 3F 「平安の間」

〒963-8014 福島県郡山市虎丸町3番18号 TEL. 024-935-1111(代表)

※定員により申し込みを締め切らせていただく場合がございますので予めご了承ください。

※交流会参加証をお持ちでない方は、会場にお入りいただけません。

3. 参加申込方法・区分

事前参加登録は、インターネットにてオンライン登録をお願いいたします。

申し込み URL <http://www.congre.co.jp/jmha2018/>

本システムをご利用の方は、以下のブラウザをご利用ください。

Windowsをご利用の方：Internet Explorer 11以降 および Firefox 34以降、Microsoft Edge、Google Chromeの最新版

Macintoshをご利用の方：MacOS X Safari10以降 および Firefox 34以降、Google Chromeの最新版

・締切当日はアクセスが集中し、登録に支障をきたすことが考えられますので、余裕を持ってご登録ください。

・応募者自身が間違えて入力した内容につきましては、事務局では一切責任を負いません。

登録ボタンを押す前に、必ず内容に間違いがないかどうかをご確認ください。

【参加申込区分】

参加種別	申込方法	支払方法	事前送付物	当日会場での受付
事前登録	オンライン	銀行振込	参加証・領収証、 プログラム・抄録集等	不要
当日登録	当日会場 郡山市民文化センター ホテルハマツ	現金のみ	なし	申込書記入、参加費納入、 参加証・領収証発行、 プログラム・抄録集等受取

※学生の方の申し込み方法は、当日登録のみとなります。

プログラム・抄録集が必要な方は、学会当日会場にて2,000円で販売いたします。

※学生の方は、ランチョンセミナー、モーニングセミナー、交流会の参加は出来ません。

【団体登録について】

同一病院・施設内の複数名分の学会参加・交流会のお申し込みを、まとめて登録することができます。団体登録は2名以上であれば何名分でも登録可能です。ただし、団体登録をした場合は、代表者以外は演題登録をすることはできませんのでご注意ください。演題発表をご希望される場合は、個人または団体登録の代表者として事前参加登録をお願いいたします。



学会参加登録

- ・団体登録は、登録者の中から1名代表者（連絡担当者）を決定して代表者の方が登録をしてください。ご参加されない方を代表者（連絡担当者）にすることはできませんのでご注意ください。代表者（連絡担当者）を通じて、登録・入金等に関するご連絡、ネームカード・抄録集等の一括発送をさせていただきます。
- ・団体登録の各個人様宛への個別送付は対応いたしかねますのでご了承ください。個別に発送をご希望される場合は、個人登録をご利用ください。
- ・団体・個人での二重登録には十分ご注意ください。

4. 参加分科会区分

お申し込みの際には、参加を予定する分科会名を以下より1つご選択ください。

※該当する分科会が複数ある場合も、以下より1つご選択ください。

- | | | |
|-----------------|-----------|------------|
| A：看護・看護教育分科会 | B：臨床医学分科会 | C：薬剤分科会 |
| D：臨床検査分科会 | E：放射線分科会 | F：栄養分科会 |
| G：リハビリテーション分科会 | H：臨床工学分科会 | I：経営・管理分科会 |
| J：地域医療・連携・福祉分科会 | | |

5. お申し込みの流れ

【事前参加登録】

- (1) 本学会ホームページの「参加登録」から画面の案内に従ってご登録ください。
- (2) 事前参加登録完了後、E-mail がご登録のメールアドレスに配信されます。24時間経過しても届かない場合は、登録が完了していない可能性がございますので、運営事務局（P.21）までご連絡ください。

- (3) 申込内容確認・変更・取消について

参加登録画面にてログインID・パスワードをご入力いただくと、お申し込み内容をご確認いただけます。

団体登録で、登録者の追加をされる場合は、参加登録画面へログインし、画面に従って追加してください。

登録内容の変更・取消をご希望される方はE-mailにて運営事務局までご連絡ください。

- (4) お支払方法

銀行振込のみ

振込期限：平成30年9月7日（金）

ご登録は、ご入金の確認をもって完了となります。振込期限までにご入金が確認できない場合は、事前参加登録が削除となり、当日登録をしていただくこととなりますので、ご注意ください。

お振込口座は、下記2箇所に記載されております。

1. オンライン参加登録手続きの画面
2. オンライン参加登録完了後、自動的に配信されるE-mail

※振込手数料は参加登録者負担でお願いいたします。

※お振り込みの際にはご登録いただいたご本人名、および管理番号（例：00001-01 福島太郎）をご入力ください。

ご登録者様以外の振込人名義でお振込いただきますと、確認ができずに料金未納の扱いとなる場合がございます。

※お振込はご登録後なるべくお早めをお願いいたします。

- (5) 送付物

事前参加登録をされた方には、入金確認後、10月上旬（予定）に申込者（代表者）宛に以下の物をご送付いたします。

- ・学会参加証（ネームカード）
- ・プログラム・抄録集
- ・領収証（※発行は全て個別となります）
- ・交流会参加証（※お申し込みいただいた方のみ）
- ・セミナー参加証（※お申し込みいただいた方のみ）
- ・コンgresバッグ引換券

【当日参加登録】

郡山市民文化センター1階、ホテルハマツ1階受付前に設置しております申込書に予め必要事項をご記入の上、受付にてお手続きください。

参加費のお支払いは、現金のみにて受け付けております。

6. 取消料について

お申し込み後、止むを得ずご参加を取り消しされる場合には、下記の取消料を申し受けます。

なお、変更・取消をご希望される方は、E-mailにて下記運営事務局までご連絡ください。

※お電話およびFAXでの変更・取消は、受付をいたしませんので、ご注意ください。

取消期間	学会参加費	交流会参加費	備考
平成30年8月31日まで	取消料なし	取消料なし	プログラム・抄録集等は送付しません
平成30年9月1日 ～9月8日	参加費の半額	取消料なし	プログラム・抄録集等の送付および学会参加費の返金は、学会会期終了後に行います
平成30年9月8日以降	参加費全額	参加費全額	プログラム・抄録集等は送付します

7. ランチョンセミナー・モーニングセミナーについて

本学会では、ランチョンセミナー（昼食付）、モーニングセミナー（朝食付）を企画しております。

両セミナーは、オンライン上での事前登録が可能です。

数に限りがございますので、お早めにお申込みください。

8. 託児所について

本学会では託児所の用意はございません。

9. お問い合わせ先

運営事務局：株式会社コングレ

担当：塩田・佐藤

〒102-8481 東京都千代田区麹町5-1 弘済会館ビル

TEL：03-5216-5318 FAX：03-5216-5552

E-mail：jmha2018-reg@congre.co.jp（参加登録専用窓口）

<お問い合わせ受付時間>月曜～金曜（祝祭日除く）10：00～17：30



演題発表申し込み

一般演題(デジタルポスターセッション)を公募いたします。多数の皆様の申し込みをお待ちしております。

演題募集期間

平成30年4月10日(火)～平成30年6月14日(木) 正午

1. 発表形式

デジタルポスター発表(発表5分、質疑応答2分)

「デジタルポスター」とはPCデータ(PowerPoint)で作成したポスター原稿を、大型液晶モニターに投影して行う発表形式です。加えて「紙ポスター」を閲覧用として掲示していただきます。

演題申込者はデジタルポスター発表用PCデータ(PowerPoint)の事前登録と当日の閲覧用紙ポスター掲示が必須となります(片方だけの申し込みはできません)。

※詳しくは、本学会ホームページをご参照ください。

2. 演題発表申し込み方法

- ・演題発表申し込みはすべてUMINオンライン演題登録システムにて受け付けます。登録された演題は、演題発表申し込み締切日までオンライン上で修正、削除することができます。

申し込みURL <http://www.congre.co.jp/jmha2018/>

【注意事項】

- ・演題発表申し込みをされる方は、必ず個人登録または団体登録の代表者として事前参加登録申し込みをしてください。
※団体登録をした場合は、代表者以外は演題登録をすることができませんのでご注意ください。
- ・締切当日はアクセスが集中し、登録に支障をきたすことが考えられますので、余裕を持ってご登録ください。
- ・応募者自身が間違えて入力した内容につきましては、事務局では一切責任を負いません。登録ボタンを押す前に、内容に間違いがないかをご確認ください。
- ・演題の採択、および発表分科会等の決定は学会長に一任願います。ご希望に沿えない場合もありますが、ご了承ください。

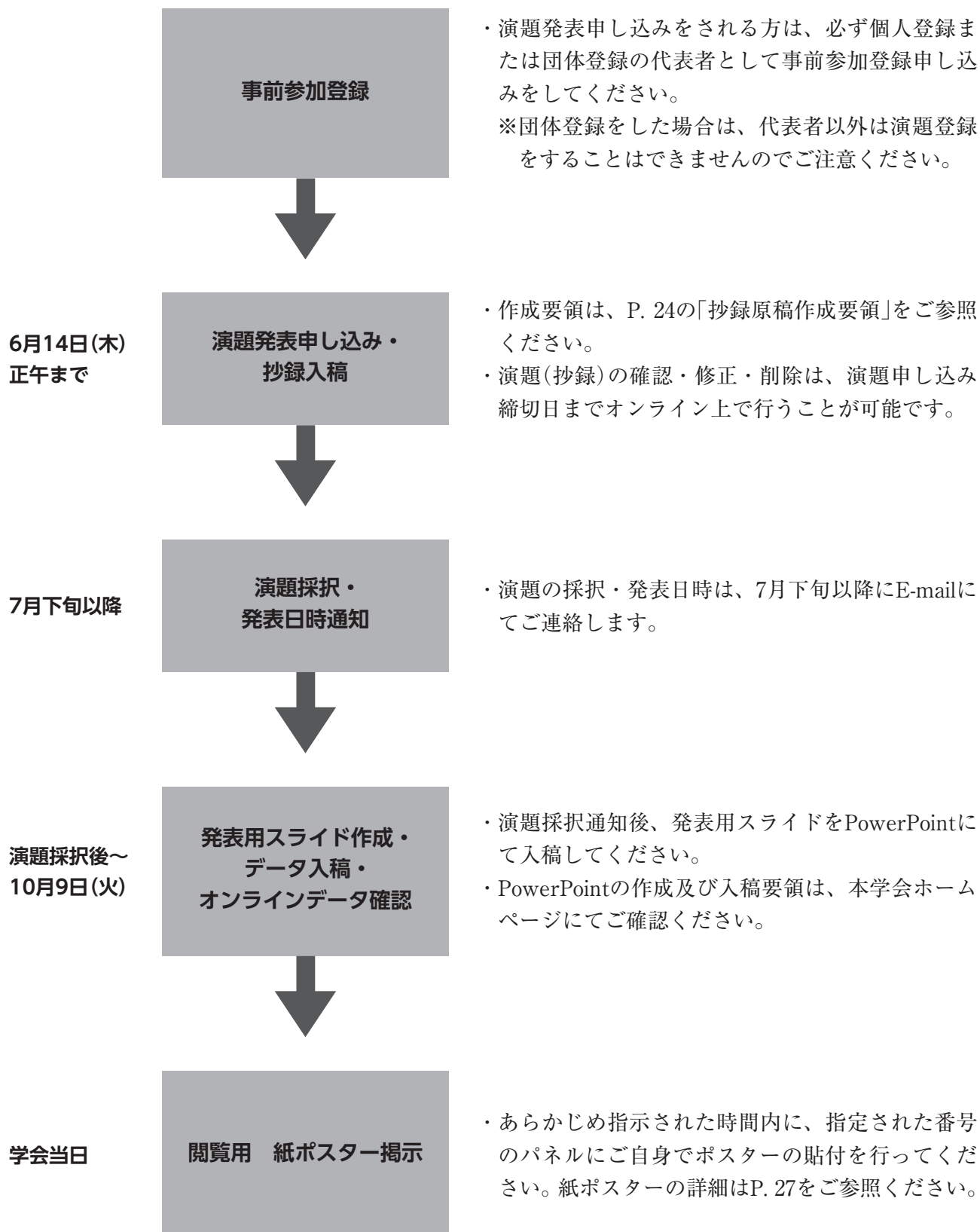
※ご利用可能なブラウザとバージョン：

- ・Firefox 最新バージョンを推奨
- ・Google Chrome 最新バージョンを推奨
- ・Internet Explorer 最新バージョンを推奨
- ・Microsoft Edge 最新バージョンを推奨
- ・Safari [ver.2.0.3(417.9.2)以降]

3. 演題発表申し込みから発表当日までの流れ

※デジタルポスターセッションについては、P. 26にも記載しておりますので、ご参照ください。

※最新情報は、本学会ホームページに掲載いたします。



4. 抄録原稿作成要領

(1) 発表希望分科会

発表希望分科会を以下から選択してください。

A: 看護・看護教育分科会

A-1 急性期看護	A-2 慢性期看護	A-3 外来看護
A-4 認知症看護	A-5 在宅看護	A-6 救急看護
A-7 災害看護	A-8 精神看護	A-9 小児看護
A-10 母性看護	A-11 周産期看護	A-12 がん看護
A-13 意思決定支援	A-14 看護倫理	A-15 看護管理・情報管理
A-16 看護教育	A-17 看護業務改善	A-18 感染管理
A-19 医療安全	A-20 チーム医療	A-21 その他

B: 臨床医学分科会

B-1 自由演題	B-2 病院運営、経営	B-3 新専門医制度
B-4 災害時医療		

C: 薬剤分科会

C-1 医薬品調整	C-2 医薬品管理	C-3 医薬品情報
C-4 医療安全	C-5 薬物治療	C-6 がん化学療法
C-7 抗菌化学療法・感染制御	C-8 精神科領域	C-9 チーム医療
C-10 薬剤管理指導	C-11 病棟薬剤業務	C-12 医療経済
C-13 薬薬連携	C-14 教育研究	C-15 治験・臨床試験
C-16 その他		

D: 臨床検査分科会

D-1 管理・運営	D-2 輸血	D-3 免疫
D-4 生化学	D-5 血液	D-6 一般
D-7 病理	D-8 細胞診	D-9 微生物
D-10 生理	D-11 チーム医療	D-12 その他

E: 放射線分科会

E-1 X線検査	E-2 CT検査	E-3 MRI検査
E-4 血管撮影	E-5 核医学検査	E-6 放射線治療
E-7 放射線管理	E-8 医療情報管理	E-9 その他

F: 栄養分科会

F-1 がん化学療法	F-2 摂食嚥下障害	F-3 栄養指導
F-4 給食サービス	F-5 在宅医療	F-6 栄養評価法
F-7 褥瘡	F-8 周術期栄養管理	F-9 リハビリテーションと栄養
F-10 その他		

G: リハビリテーション分科会

G-1	管理・運営	G-2	調査・統計	G-3	高次機能障害
G-4	神経系疾患	G-5	内部障害	G-6	骨関節系疾患
G-7	がんリハビリ	G-8	摂食・嚥下	G-9	生活環境支援
G-10	小児リハビリ	G-11	地域リハビリ	G-12	ロボットリハビリ
G-13	精神障害・認知症	G-14	その他		

H: 臨床工学分科会

H-1	呼吸	H-2	循環	H-3	代謝
H-4	医療機器管理	H-5	安全管理	H-6	その他

I: 経営・管理分科会

I-1	病院経営	I-2	経営管理	I-3	医療の質管理
I-4	リスクマネジメント	I-5	情報システム	I-6	患者サービス
I-7	その他				

J: 地域医療・連携・福祉分科会

J-1	退院支援・退院調整	J-2	地域医療ネットワーク	J-3	ICT 地域医療ネットワークシステム
J-4	がん相談・支援	J-5	地域包括ケア・在宅医療	J-6	地域・住民との連携
J-7	ソーシャルワーク実践	J-8	チーム医療	J-9	その他

- (2) 共同研究者はスペースの関係上、最大9名(演題発表者を含む)としてください。
- (3) 共同研究者の所属が異なる場合は、原則として合計で最大5施設としてください。
- (4) 演題名は全角60文字以内で簡潔にまとめて作成してください。なお、英数字は半角2文字を全角1文字と換算いたします。
- (5) 抄録本文は全角1,000字以内とし、内容は【目的】、【方法】、【結果】、【結論】の順に必ず項目を立てて記述してください。なお、英数字は半角2文字を全角1文字と換算いたします。
図表をご登録する場合は抄録本文の文字数は670字以内となりますので、ご注意ください。
- (6) 抄録本文作成上の注意
- ・抄録本文は、最初にご自身のワードプロセッサのソフトで作成し、コピー機能を使って貼り付けされることをお勧めします。
 - ・先頭行も1マスあけずに左詰めで記入してください。

5. お問い合わせ先

運営事務局：株式会社コングレ

担当：塩田・佐藤

〒102-8481 東京都千代田区麹町 5-1 弘済会館ビル

TEL：03-5216-5318 FAX：03-5216-5552

E-mail：jmha2018-abs@congre.co.jp (演題登録専用窓口)

<お問い合わせ受付時間>月曜～金曜(祝祭日除く) 10:00～17:30

デジタルポスターセッションについて

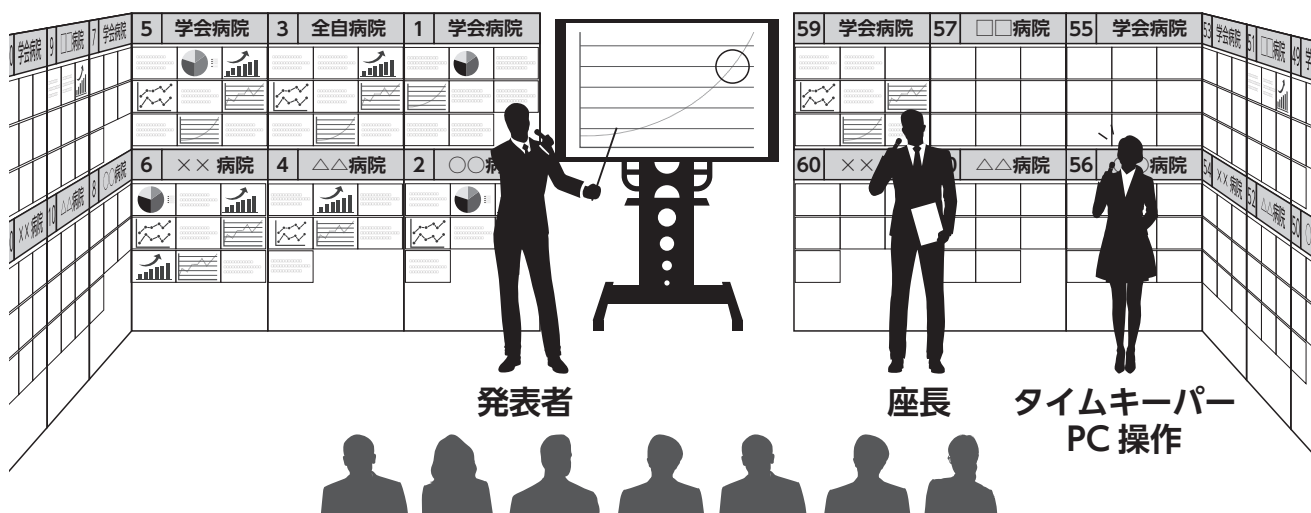
1. 発表形式について

デジタルポスター発表（発表5分、質疑応答2分）

「デジタルポスター」とはPCデータ（PowerPoint）で作成したポスター原稿を、大型液晶モニターに投影して行う発表形式です。加えて「紙ポスター」を閲覧用として掲示していただきます。

演題発表申込者はデジタルポスター発表用PCデータ（PowerPoint）の事前登録と当日の閲覧用紙ポスター掲示が必須となります（片方だけの申し込みはできません）。

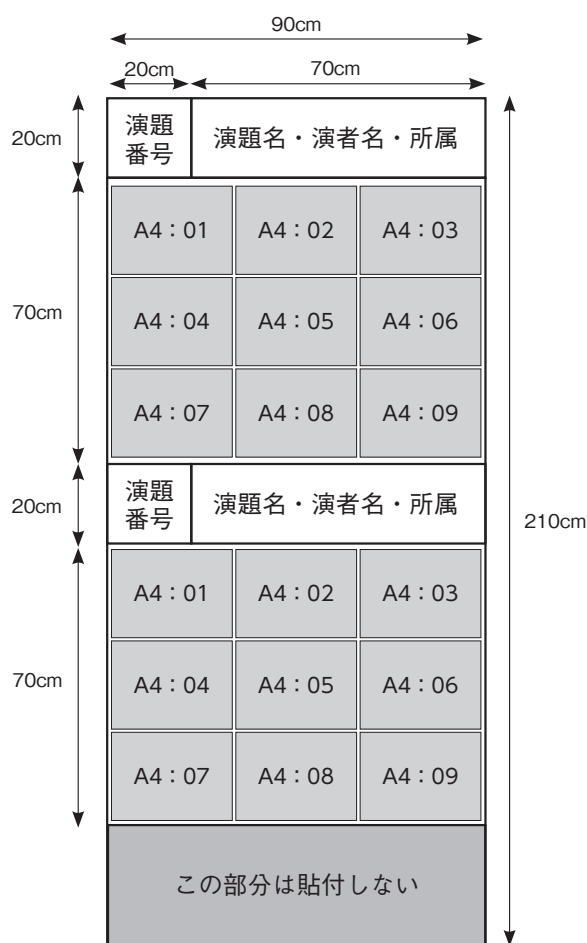
デジタルポスターセッションイメージ



2. 演題用 紙ポスターについて

- ・演題ごとに下記のような大きさのパネルを用意いたします。あらかじめ指定時間内に、指定された演題番号のパネルにご自身で紙ポスターの貼付を行ってください。
- ・本学会は**1日ごとに貼り替える形式**といたしますので、掲示・撤去は、指定時間内に各自の責任にてお願いいたします。また、撤去時間以降に残っているポスター等は、運営事務局にて処分いたしますので、予めご了承ください。

紙ポスター・パネルイメージ



- ・パネル左上の演題番号は、運営事務局で用意しますので、その右側に演題名・演者名・所属を表示してください。
- ・紙ポスターは**A4：9枚程度**で作成をお願いします。パネルのサイズに準拠していただければ、長尺用紙での掲示も可能です。
※ポスターパネルの詳細については、学会ホームページをご参照ください。



エキスカーションのご案内

本学会ご参加者様用に下記エキスカーションを御用意しております。
 学会ホームページ「宿泊・エキスカーションのご案内」より旅行条件書（要約）をご確認の上、ぜひお申し込みください。

A.【裏磐梯・喜多方コース】

月日（曜）	日程表の見方／●入場 ○下車 ○車窓 — バス … 徒歩 +++ 鉄道	食事		
		朝	昼	夕
10月20日（土）	郡山駅 — 五色沼自然探勝路 — 喜多方市内（自由昼食 ※ラーメンマップ配布）…… 8:00 9:30 11:00 12:00 …… ●喜多方ラーメンミュージアム …… ●大和川酒蔵 北方風土館 …… ◎若喜商店 縞柿の蔵座敷 14:00 14:20 14:30 15:00 15:10 15:40 — ○おたづき蔵通り（車窓） — 郡山駅 17:00	×	×	×

- 定員／40名 ■最少催行人員／25名
- 添乗員／郡山駅より郡山駅まで同行 ■食事／なし
- 利用予定バス会社／
 福島交通、メール観光、オールスター観光、福島観光自動車、会津交通、猪苗代観光バス、喜多方観光バス、報徳観光バス、郡山観光交通、郡山中央交通、桜交通、新常磐交通、西部観光バス、大和自動車交通、ティーエス観光、トランスパック
- 旅行代金に含まれるもの／
 貸切バス代金、有料道路・駐車料、入場料、添乗員費用及び消費税等諸税
- お願い／
 道路交通状況、当日の気象状況等の事情により、行程表記載の時刻が変更となる場合がございます。
 紅葉の見頃は気象条件により例年と異なる場合がございます。
- 概算旅行代金：@6,500円
- 紹介文／
 福島県を代表する紅葉の名所「五色沼」、蔵の街並みとラーメンが人気の「喜多方」をめぐるコースです。
 さまざまな色彩の湖沼が神秘的な五色沼を散策し、湖面越しの磐梯山や四季折々の自然をお楽しみいただけます。
 札幌、博多と並ぶ日本三大ラーメンの一つとして有名な喜多方ラーメンの昼食後は、昭和までに建てられた風情ある蔵の街並みを散策いただきます^{※1}
- ※1 旅行代金に昼食代は含まれておりません。喜多方市内到着後、自由昼食となります。



喜多方ラーメン（画像提供：喜多方観光物産協会）



五色沼（毘沙門沼）（画像提供：福島県観光物産交流協会）

B.【猪苗代湖畔・会津若松コース】

月日（曜）	日程表の見方／●入場 ○下車 ○車窓 — バス … 徒歩 +++ 鉄道	食事		
		朝	昼	夕
10月20日（土）	郡山駅 — ●野口英世記念館・◎世界のガラス館・◎猪苗代湖 — ◎会津若松市内（昼食） 8:30 9:30 11:00 11:40 12:40 — ●鶴ヶ城 — ◎飯盛山 — 郡山駅 13:00 14:00 14:30 15:30 17:00	×	○	×

- 定員／40名 ■最少催行人員／25名
- 添乗員／郡山駅より郡山駅まで同行 ■食事／昼1回
- 利用予定バス会社／
 福島交通、メール観光、オールスター観光、福島観光自動車、会津交通、猪苗代観光バス、喜多方観光バス、報徳観光バス、郡山観光交通、郡山中央交通、桜交通、新常磐交通、西部観光バス、大和自動車交通、ティーエス観光、トランスパック
- 旅行代金に含まれるもの／
 貸切バス代金、有料道路・駐車料、入場料、昼食代金、添乗員費用及び消費税等諸税
- お願い／
 道路交通状況、当日の気象状況等の事情により、行程表記載の時刻が変更となる場合がございます。
 紅葉の見頃は気象条件により例年と異なる場合がございます。
- 概算旅行代金：@9,000円
- 紹介文／
 風光明媚な「猪苗代湖畔」と、歴史情緒に満ちあふれたレトロモダンの街「会津若松」をめぐるコースです。
 猪苗代湖畔では、野口英世先生の生涯と業績を学べるミュージアム「野口英世記念館」を訪れます。
 郷土食「わっぱめし」で四季の味覚をお楽しみいただいた後は、難航不落の名城として幕末史にその名を轟かせた「鶴ヶ城」、若き白虎隊士の最期の地「飯盛山」など、戊辰戦争ゆかりの地をめぐるコースです。



鶴ヶ城（画像提供：会津若松観光ビューロー）

C.【大内宿コース】

月日(曜)	日程表の見方/●入場 ○下車 ○車窓 — バス … 徒歩 +++ 鉄道							食事				
	朝	昼	夕				朝	昼	夕			
10月20日(土)	郡山駅 8:00	—	◎塔のへつり 10:00 10:50	—	◎大内宿(自由散策・自由昼食) 11:30	—	●末廣酒造 嘉永蔵 14:00 15:00 15:40	—	郡山駅 17:00	×	×	×

■定員/40名 ■最少催行人員/25名

■添乗員/郡山駅より郡山駅まで同行 ■食事/なし

■利用予定バス会社/

福島交通、メール観光、オールスター観光、福島観光自動車、会津交通、猪苗代観光バス、喜多方観光バス、報徳観光バス、郡山観光交通、郡山中央交通、桜交通、新常磐交通、西部観光バス、大和自動車交通、ティーエス観光、トランスパック

■旅行代金に含まれるもの/

貸切バス代金、有料道路・駐車料、入場料、添乗員費用及び消費税等諸税

■お願い/

道路交通状況、当日の気象状況等の事情により、行程表記載の時刻が変更となる場合がございます。

紅葉の見頃は気象条件により例年と異なる場合がございます。

■概算旅行代金: @6,500円

■紹介文/

山間に昔懐かしい日本の原風景が広がる「大内宿」をめぐるコースです。

会津と日光を結ぶ街道の宿場町として栄えた大内宿は、今も通りに沿って古民家が立ち並ぶ南会津屈指の人気観光地です。

長ネギを箸代わりに食べるそばなど、大内宿グルメもお楽しみいただけます^(※1)

※1 旅行代金に昼食代は含まれておりません。大内宿到着後、自由昼食となります。



大内宿 (画像提供: 下郷町観光協会)

D.【いわきコース】

月日(曜)	日程表の見方/●入場 ○下車 ○車窓 — バス … 徒歩 +++ 鉄道							食事				
	朝	昼	夕				朝	昼	夕			
10月20日(土)	郡山駅 8:20	—	●あぶくま洞 9:20 11:00	—	◎いわき・ら・ら・ミュウ(昼食)・・・ 12:30 13:20	—	●アクアマリンふくしま 13:30 15:00	—	郡山駅 17:00	×	○	×

■定員/40名 ■最少催行人員/25名

■添乗員/郡山駅より郡山駅まで同行 ■食事/昼1回

■利用予定バス会社/

福島交通、メール観光、オールスター観光、福島観光自動車、会津交通、猪苗代観光バス、喜多方観光バス、報徳観光バス、郡山観光交通、郡山中央交通、桜交通、新常磐交通、西部観光バス、大和自動車交通、ティーエス観光、トランスパック

■旅行代金に含まれるもの/

貸切バス代金、有料道路・駐車料、入場料、昼食代金、添乗員費用及び消費税等諸税

■お願い/

道路交通状況、当日の気象状況等の事情により、行程表記載の時刻が変更となる場合がございます。

■概算旅行代金: @10,000円

■紹介文/

東北有数の巨大レジャー施設が多く揃う「いわき」をめぐるコースです。

「あぶくま洞」では、約8,000万年の歳月をかけてつくられた幻想的な鍾乳洞を探検します。全国から仕入れられた魚介類がずらりと並び観光物産センター「いわき・ら・ら・ミュウ」で昼食後、およそ800種類もの生き物たちが飼育され、ユニークな展示で海の魅力を体感できる「環境水族館アクアマリンふくしま」を訪れます。



環境水族館アクアマリンふくしま

(画像提供: 公益財団法人ふくしま海洋科学館)

宿泊プラン・エクスカーションに関するお問い合わせ先

(株) JTBビジネスネットワーク JTB東北ECデスク
「第57回全国自治体病院学会 in 福島」係

TEL:0120-989-960(フリーダイヤル)

FAX:0120-937-224(フリーダイヤル)

E-mail: tohoku-ec@jbn.jtb.jp

[営業時間] 午前9時30分~午後5時30分(土・日・祝日休業)



あぶくま洞滝根御殿

(画像提供: 一般財団法人田村市滝根観光振興公社 あぶくま洞管理事務所)

お申し込み手続きについて

学会事務局では、宿泊プラン・エクスカーションのお申し込みを受け付けておりません。

宿泊プラン・エクスカーションに関するお問い合わせにつきましては、(株)JTBビジネスネットワークJTB東北ECデスクへお問い合わせください。お申し込み方法につきましては、学会ホームページより「宿泊・エクスカーションのご案内」をご確認ください。

●宿泊・エクスカーションのご案内：<http://www.congre.co.jp/jmha2018/html/stay/stay.html>

宿泊のご案内

本学会ご参加者様用に下記宿泊プランを御用意しております。

学会ホームページ「宿泊・エクスカーションのご案内」より旅行条件書(要約)をご確認の上、ぜひお申し込みください。

●宿泊プラン設定日：2018年10月17日(水)18日(木)19日(金)3泊分

●旅行代金：1泊朝食付・税金・サービス料込 おひとり様あたりの金額 *単位：円

※1 ホテルルートイン郡山、ホテルルートイン郡山インター、郡山シティホテルは無料の軽朝食サービス付となります。

※2 郡山ワシントンホテル、ダイワロイネットホテル郡山駅前には食事無しとなります。但し、ご旅行代金に1,000円追加で朝食付に変更できます。

地図	ホテル名	客室タイプ	禁煙 / 喫煙	利用人数	朝食	ご旅行代金 (お一人様)	郡山駅への アクセス
①	ダイワロイネットホテル 郡山駅前	シングル	禁煙	1名1室	×(※2)	12,000円	郡山駅西口より 徒歩約1分
		シングル	喫煙	1名1室	×(※2)	12,000円	
②	郡山シティホテル	シングル	禁煙	1名1室	×(※1)	10,000円	郡山駅西口より 徒歩約1分
		シングル	喫煙	1名1室	×(※1)	10,000円	
		ツイン	禁煙	2名1室	×(※1)	8,500円	
			喫煙	1名1室	×(※1)	12,000円	
		ツイン	禁煙	2名1室	×(※1)	8,500円	
			喫煙	1名1室	×(※1)	12,000円	
③	チサンホテル郡山	シングル	禁煙	1名1室	○	9,000円	郡山駅西口より 徒歩約2分
		シングル	喫煙	1名1室	○	9,000円	
④	ホテルプリシード郡山	シングル	禁煙	1名1室	○	10,500円	郡山駅西口より 徒歩約4分
		シングル	喫煙	1名1室	○	10,500円	
		ツイン	禁煙	2名1室	○	9,500円	
			喫煙	1名1室	○	14,000円	
		ツイン	禁煙	2名1室	○	9,500円	
			喫煙	1名1室	○	14,000円	
⑤	郡山ワシントンホテル	シングル	禁煙	1名1室	×(※2)	9,000円	郡山駅西口より 徒歩約5分
		シングル	喫煙	1名1室	×(※2)	9,000円	
⑥	ホテルクラウンヒルズ 郡山	シングル	禁煙	1名1室	○	10,000円	郡山駅西口より 徒歩約5分
		シングル	喫煙	1名1室	○	10,000円	

⑦	郡山ビューホテル	シングル	禁煙	1名1室	○	12,000 円	郡山駅西口より 徒歩約 7 分
		シングル	喫煙	1名1室	○	12,000 円	
		ツイン	禁煙	2名1室	○	11,000 円	
				1名1室	○	15,500 円	
⑧	郡山ビューホテル アネックス	シングル	禁煙	1名1室	○	12,000 円	郡山駅西口より 徒歩約 5 分
		ツイン	禁煙	2名1室	○	11,000 円	
				1名1室	○	16,500 円	
⑨	スマイルホテル郡山	シングル	禁煙	1名1室	○	8,500 円	郡山駅東口より 車で約 10 分
		シングル	喫煙	1名1室	○	8,500 円	
⑩	スターホテル郡山	シングル	禁煙	1名1室	○	9,500 円	郡山駅西口より 車で約 8 分
		シングル	喫煙	1名1室	○	9,500 円	
		ツイン	禁煙	2名1室	○	8,500 円	
				1名1室	○	11,500 円	
⑪	ホテルルートイン 郡山	シングル	禁煙	1名1室	×(※1)	8,500 円	郡山駅西口より 車で約 10 分
		シングル	喫煙	1名1室	×(※1)	8,500 円	
⑫	ホテルルートイン 郡山インター	シングル	禁煙	1名1室	×(※1)	8,000 円	郡山駅西口より 車で約 20 分
		シングル	喫煙	1名1室	×(※1)	8,000 円	
⑬	ホテルバーデン	シングル	禁煙	1名1室	○	9,500 円	郡山駅西口より 車で約 20 分
		シングル	喫煙	1名1室	○	9,500 円	

※ 旅行サービスの提供を受けるために必要な宿泊登録確認書をWEBサイトからお客様ご自身でダウンロードしていただき、宿泊施設におけるチェックイン等のお手続きはお客様ご自身で行っていただきます。

※ 駐車場詳細(提携駐車場等)につきましては、ご宿泊先確定後に各ホテルまでお問い合わせください。

※ 延泊をご希望の場合は、別途お問い合わせください。

宿泊・エクスカージョンに関するお問い合わせ先

(株)JTB ビジネスネットワーク JTB 東北 EC デスク

「第 57 回全国自治体病院学会 in 福島」係

TEL : 0120-989-960 (フリーダイヤル) FAX : 0120-937-224 (フリーダイヤル)

E-mail : tohoku-ec@jbn.jtb.jp [営業時間] 午前 9 時 30 分～午後 5 時 30 分 (土・日・祝日休業)

郡山駅西口マップ (会場・ホテル番号1~8)



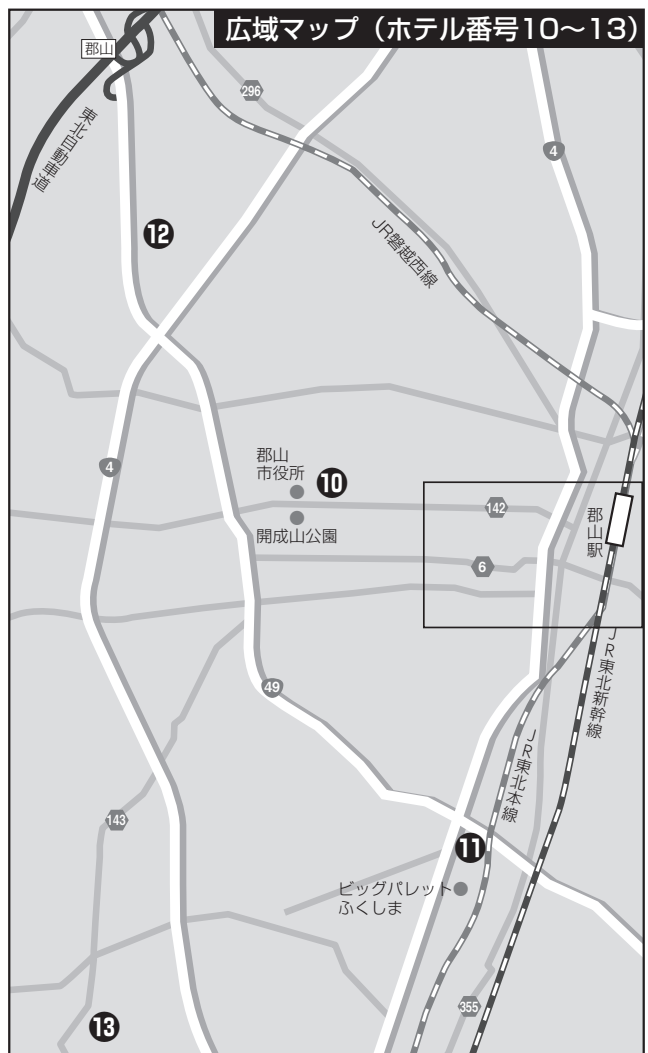
宿泊ホテル一覧

- ① ダイワロイネットホテル郡山駅前
- ② 郡山シティホテル
- ③ チサンホテル郡山
- ④ ホテルプリシード郡山
- ⑤ 郡山ワシントンホテル
- ⑥ ホテルクラウンヒルズ郡山
- ⑦ 郡山ビューホテル
- ⑧ 郡山ビューホテルアネックス
- ⑨ スマイルホテル郡山
- ⑩ スターホテル郡山
- ⑪ ホテルルートイン郡山
- ⑫ ホテルルートイン郡山インター
- ⑬ ホテルバーデン

郡山駅東口マップ (ホテル番号9)



広域マップ (ホテル番号10~13)





学会事務局

公立大学法人 福島県立医科大学附属病院
〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地

運営事務局

株式会社コングレ

〒102-8481 東京都千代田区麹町5-1 弘済会館ビル6階

TEL:03-5216-5318 FAX:03-5216-5552 E-mail:jmha2018@congre.co.jp